

[抄録様式]	
	公益財団法人 8020 推進財団 平成24年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録
1.事業名	保土ヶ谷区における高齢者の歯科実態・意識調査と歯周病・誤嚥性肺炎予防啓発
2.申請者名	保土ヶ谷歯科医師会 会長 伊藤洋一
3.実施組織	保土ヶ谷歯科医師会 保土ヶ谷区福祉保健センター 福祉保健課 協力団体：保土ヶ谷区老人クラブ連合会 保土ヶ谷区内 各地域ケアプラザ
4.事業の概要	保土ヶ谷区在住高齢者（65歳以上を募集）の8020達成度、口腔状態・意識の調査を行い、実態を把握・分析し、いつでもどこでも誰でも歯科医療が受けられる“歯科ユキビタスネットワーク”システムの構築を目指す。
5.事業の内容	1. 事前アンケートによる意識調査 2. 歯科健診による口腔内実態調査 3. 歯周病唾液検査（サリバスター） 4. 歯周病・誤嚥性肺炎についての講話 5. 衛生士によるブラッシング指導 6. “イキイキ健口体操”など口腔機能改善プログラム 7. 歯科相談 8. 歯科関連メーカーによるサンプル提供 9. 事後アンケート
6.実施結果	申請した実施日時とは異なり、平成24年11月8日、午前9時30分より保土ヶ谷区役所内 4階会議室・研修室で執り行われた。事前の申し込み96名（65歳以上対象）に対し、飛び込みも含め78名の来場者数（参加率78%）。約半数の方が70歳代、女性が65%。事業従事者は保健福祉センター6名、保土ヶ谷歯科医師会会員12名、会員医院スタッフ15名（計33名）。事前アンケート調査で、56%の方が高血圧や心疾患等の持病持っていないながらも、89%の方が健康のため何らかの運動をしており、自身が健康だと自覚、69%の方が噛むことには不自由していない。この1年間に歯科医院での定期検診を受けたものが58%。口腔清掃に関しては、55%の方が2～4分のブラッシング時間、83%の方が朝夜の2回もしくは毎食後行い、54%の方が歯間ブラシやフロス等補助的の清掃道具を毎日使用。8020運動の周知率は47%。健診では、う蝕罹患率16%、義歯装着率36%、8020達成率36%。事後アンケートでは、歯周病について理解できた方98%、歯ブラシ指導理解できた方93%、健口体操がよかった方91%、当日の講演・検診の結果で歯科の受診を考えた方90%、来年もこのような事業が行われた場合に参加を希望する方84%と、今事業のが歯周病啓発などに十分成果があったと言える。（詳細別資料）
7.実施後の評価	今事業の内容・調査結果は、指定された場所へ赴くことができる身体的に問題の無い方、かつ自身の健康向上に意欲的な方の集団であり、あらゆる高齢者を対象としたものとは言えないが、意識・知識や傾向はつかむことができた。8020財団の助成によってこのような事業が行えたことは、地域歯科保健活動の人材確保・育成において大変有意義であり、可及的に継続的事业として定着させたい。今後これらのデータをもとにして、歯科医師会、地域コミュニティー、行政が一体となった地域連携システムの構築を目指し高齢者社会に対応できればと考えている。
(今後の課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続事業としての壁：同様な内容・開催場所では参加者が固定されてしまうので、特定高齢者まで幅を広げることができない。各地域ケアプラザを毎年輪番制で巡るのも一考 ・財源の確保：8020財団、歯科医師会、行政、地域ケアプラザ、区老人クラブ連合会 ・人材確保と育成：代表者、担当者、実務者の育成システム ・地域連携システムの構築：関係団体の擁立、財源の分担、事業の分担 ・ユキビタス医療の構築：歯科医院との連携、訪問診療、地域ケアプラザの活用 ・口腔機能向上プログラムの保険点数化：歯科医院での実施促進・定着、歯科衛生士雇用 ・事業の評価：事業効果の調査、データの指標化、PDCAサイクル
協賛企業	アサヒブリテック(株)、イーエヌ大塚製薬(株)、グラクソ・スミスクライン(株)、小林製薬(株)、(株)モリタ、ライオン歯科材(株)、KOデンタル(株)